

学会の教学に代して室内には室内の教学
 がある、とよく言っている。とにかく、学会の持て
 ないこと、学会のやってないこと、という具合に室内
 の教学はすすんでいく。

(日淳上人は今の現下にならういふことで叱られた
 のか、その向いに対して)

とにかく考えが浅すぎる、考えないで、こ
 失敗すると、淳師は嘆かされていた。当時室内では
 今の現下は信用が存かた、欠点ばかりか、
 現下に在る人は、学会との関係もあって今の
 現下ばかり存かた。

昭和33年大講堂の落成式、広布の模範
 試験の折、貴賓室に部長以下が集まった
 その時日淳上人は戸田先生から一幅の絵
 がこゝに供養された。その絵には照悟空の絵
 が描かれていた。日淳上人はじつとそれを見て
 おられた。その時和泉ミヨエさんが、この巻具には
 20万もかけたんじやよ、と書きた。

戸田先生は現下の前にひれ伏してまじへ
 願った。戸田先生はこれと「終つた終つた、